

※「リードご」とは、「良いところ」という意味の地域の方言です

村上市猿沢地域まちづくり通信 **リードご!** **猿沢** vol.17

Lead&Go! 2016.9.15 発行

豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る



もくじ

- ◎昔から続いているお宮様の清掃活動 1P
- ◎板屋越集落ワーク開催 2P
- ◎盆おどり大会 3P
- ◎あいさつ+1 (プラスワン) 運動 3P
- ◎クリーン作戦を通して 3P
- ◎おらだりやねだりの宝もの 4P
- ◎秋のお楽しみ行事 4P
- ◎あとがき 4P



参加者の感想

ぼくが、お宮そうじでがんばったことは石ひろいです。友だちといっしょにたくさんひろいました。これからもきれいにしたいです。<増子 奏太(かなた) 小2>

ぼくは、8月3日に、お宮様そうじをしました。終わったら、水があったので手をあらっていたら、セミのぬけがらがいっぱいありました。そして、かにさされちゃいました。すごくかゆいです。<玉木 月(らいと) 小3>

ぼくは、お宮そうじで、階段をはいていました。砂や、はっぱなどがいっぱい落ちてはくのがすごく大変でした。でも終わったあとけっこうきれいになったのでうれしかったです。<玉木 涼陽(すばる) 小6>

昔から続いているお宮様の清掃活動

平成25年6月に猿沢地域まちづくり協議会が行った宮ノ下・下中島集落資源調査により、宮ノ下の「一ノ宮河内神社」は、仁平元年(一一五二)に石黒総介正盛がこの地に、一ノ宮河内大明神を建てたのが起こりとされ、句碑には後白河天皇の第三王子頼成親王(雲上佐市郎公)を祀ったものと伝えられており、承久の乱による地方の争いを背景とした歴史譜を持つ社である、と紹介されています。

一ノ宮河内神社は武神として、戦勝祈願に御利益があるとされて、戦前戦中、数多くの参拝者が訪れ、参道入口に「一ノ宮河内神社」と刻まれた社号標は、三条市出身の陸軍大将、鈴木壮六の書とされています。

以前は祭礼以外にも遠近より多くの方が参拝に訪れていた神社ということで、私の幼少の頃は児童数も多かったこともあり週に一度児童だけで掃除をしていました。近年は児童の少子化で年に数回程度の活動になっています。一ノ宮大明神も今は昔のようではなく、宮ノ下の鎮守として祭祀されています。

集落の大切な神社の清掃活動が、夏休みを利用して子どもと保護者らで行われました。(石田 勝 宮ノ下)



猿沢は、旧出羽街道沿の両側に、一戸一戸が並ぶ切妻造り妻入りの家並みです。外観が同じで間取りも殆ど同じ造りなので、よそから来る人は勿論、集落の人達も、特に夜などは用事で入った家が隣だったという、笑うに笑えない話もあります。昭和60年代から建て替えが始まり、切妻、妻入りではなく現代風の建物も建つようになりました。

家並みとセツトの景観がもう一つあります。家の前を流れる川幅2m余りの前の川です。この川は、先人が使い水にと直角に曲げてわざわざ引き入れたもので、集落中央に位置し、昭和30年頃は、沿線の各戸が野菜や農器具などを洗う生活用水として使っていました。蛭が飛び交い、沢蟹や小魚が棲息し、子供たち水遊びの格好の場所でもありました。昭和34年にこの川の上流を水源として、猿沢集落150戸の簡易水道の水源となったため、夏には水なし川となっていました。

前の川と切妻、妻入りの家並みが猿沢集落の財(たから)です。(猿沢区長 高橋博愛)

ねだりや **宝もの** 各集落のお宝にスポットを当ててのコーナー

猿沢の家並みと前の川 【猿沢】

あさひまつりがいよいよ開催!

期日: 10月23日(日)  
会場: 朝日みどりの里

檜原大空会や保育園児、岩沢集落の芸能発表会、餅まき大会(ライスレンジャー)、太鼓集団「鼓童」公演、「朝日奈ゆう」歌謡ショーなどのイベントと、建設機械、林産物展示、健康食育指導、かぼちゃ料理の試食・販売、軽トラ市、フリーマーケット、物産販売などで朝日地区の豊かな地域資源の魅力を内外に発信します。さらに朝日地区の5つのまち協が協力し、またぎの家で郷土料理を販売します。各まち協でメニューが1つあり、猿沢まち協では「大海」を販売・PRします。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。



あとがき

暑かった日々、楽しかった夏休みも終わり、虫の声が聞こえ始めて来ました。まち協主催の盆おどり大会も無事に終わり、皆様の御協力に感謝します。今後は10月にはみどりの里での「あさひまつり」が計画されています。この祭りが、地元や地域外への情報発信の良い機会になればと思っておりますので、御参加と御協力をお願いします。(伊藤 弘子 上野)

発行元・お問い合わせ

- 発行 **猿沢地域まちづくり協議会**
- 事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢 5611 番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)
- 連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-0328  
MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
- HP でも活動の様子を公開しております  
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/>

締切迫る! 猿沢地域写真コンテスト作品募集!

9/30 あなたの地元愛がこもった一枚をぜひ応募してください。なお、応募作品は、猿沢小学校の文化祭時に子供達の作品と一緒に展示する予定です。詳しくは事務局まで。

秋のお楽しみ行事

- 9月 29日 郡市陸上記録会(猿沢小学校) 未定 花壇作り(宮ノ下)
- 10月 1日 森林・林業体
- 4日 マラソン大会(猿沢小学校)
- 5日 秋の遠足(猿沢保育園)
- 9日 寺尾ふれあい祭り(寺尾)
- 15日 杉の子展覧会(猿沢小学校)
- 16日 猿沢集落ウォーキング
- 21日 楽しい勉強会(上野) 若宮八
- 23日 あさひまつり(みどりの里)
- 23日 大満虚空蔵尊祭礼(猿沢)
- 24日 「和太鼓の演奏と踊り」(猿沢小学校)
- 29日 朝日中学校文化祭
- 30日 秋の集い(猿沢)
- 下旬 地域のお茶の間でクッキング(猿沢保育園)
- 11月 1日 いなかごっつあまつり(朝日みどりの里)
- 3日 朝日駅伝大会
- 7日 羽黒神社祭礼(川端)
- 15日 合同法要( )
- 16日 秋 信心よごもり( )
- 23日 しめあげ(猿沢)
- 25日 いじめ見逃しゼロスクール集会 未定 イルミネーション点灯(下中島) 未定 公民 未定 農林漁業祭(宮ノ下)
- 12月 上旬 イルミネーション点灯(寺尾)
- 1日 古月祓(猿沢)
- 7日 おゆうぎ会(猿沢保育園)
- 12日 山の神

集 集落行事 子 保育園・小学校行事 緑 まちづくり協議会主催のイベント



# 板屋越集落ウォーク開催!

6月26日に板屋越の集落ウォーキングが開催されました。当日は約40人の方が参加し、案内人のお話に感嘆していました。



案内人の大滝源一郎さん↑と渡辺正男区長→



板屋越を知ってもらった有意義な一日

当日の朝、公民館に集合した参加者は、公民館に展示の鳥瞰図を見て、各14〜15人の二班に分かれてそれぞれ滝へ車移動、雲岩寺へ徒歩移動を開始。天候に恵まれ、歴史を訪ね歩きました。滝では、滝前の大杉を見上げ、丘の上の奥の院やお不動様を参拝した後、45mの落差を持つ布曳滝を見学。初めて来られる方も多く「お見事」と称賛の声をいただき、班全員で滝を背に記念撮影をしました。この滝は源義経公が奥州下行で立寄り「美しい滝」と言われ、修行を命ぜられた家来一人が、後に不動尊を建立したと言われています。その後50m登山し、山の神様を参拝して下山。雲岩寺は鎌倉時代にはすでに存在していたそうです。上通りのお地藏様は、なぜか頭が無く、御利益が有り返せなかったのでしょうか。多岐神社は源義経公一行が参拝したと、歴代神主の書にあり、祭神は多岐津姫の命です。

金堀(かなほり)は昔の地名で、地主の屋号は鍛冶屋です。庚申様は村境で村を守っています。集落名は、中世の本庄繁長の家臣板屋古瀬右馬亮が由来と言われています。散策後は公民館で楽しい昼食休憩をとり、班ごとにマップ作成と発表会が行われ、集落の魅力を再発見できた有意義な一日を過ごしました。参加者の皆様、本当にご苦勞様でした。(板屋越区長 渡辺正男)



## 参加者の声

滝のある板屋越。自分の眼で滝様を確認したく参加しました。45mの高さから柔らかく白い布を垂らしたように細く長い清水は枯れることのない絶景で新しい発見です。(佐藤 栄 寺尾)

ぼくは、板屋越の、金ほりと言う所の、持ち主がぼくのごせんぞ様だったなんて、知らなかったので、とてもおどろきました。(大滝 凌 板屋越)

この集落に住み30余年。改めてここの歴史の深さを実感しました。特に、はじめて険しい山道をかき分けたどり着いた山の神。後ろの女滝の風情は感動ものでした。(渡辺 祐美子 板屋越)

## 盆おどり大会

8月6日、お盆の伝統行事の継承と地域住民の交流を目的に「盆おどり大会」を今年も座元は猿沢・檜原集落の方々に、また、檜は板屋越集落に、それぞれご協力をいただき開催いたしました。熱の入った猿沢の太鼓、檜原の子供達の笛：それぞれの集落によって違いはあれど、どれも継承すべき大切な伝統行事としての「宝」だと感じながら見させていただきました。例年と違いお盆開催ではなかったせいか参加者

## 盆おどり講習を実施



猿沢まち協では子ども達が盆おどり大会をより楽しめるようにと小学校で盆おどり講習会を開催。檜原大空会と地域の皆さんの指導のもと、子ども達は班別に太鼓や踊りを練習し、全員での合同練習では教師の皆さんも一緒に、おどりの輪が体育館中に広がりました。最後に大空会と地域おこし協力隊の高橋直人さんらで演奏した朝日音頭を踊り、会場は熱気と一体感に包まれました。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。(猿沢まち協事務局 貝沼寿樹)



数が少ないのが残念でした。交流事業としての「盆おどり」を検討する時期になっているのかもしれない。暑い中、設営等ご厚情、ご協力いただいた各集落の皆様感謝申し上げます。(笠川 浩 下中島)

## クリーン作戦を通して

猿沢地域一斉クリーン作戦は今年で五回目。今年も大勢の皆様にご参加いただきました。



空缶やビニールゴミ、大きな電化製品など今年も様々なゴミが回収されています。終了後、各集落回収のゴミをみると、年々回収するゴミの量が減少しているように感じます。この活動を通し協議会の基本方針である「美しい景観と環境を守り育てる」ことが進められていると感じるクリーン作戦でした。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。(佐藤 進 寺尾)

## 子供たちの気持ちいい挨拶で思わずうれしくなる!

本年度より、まちづくり協議会に参加させていただき、毎月11日の「あいさつ+1(プラスワン)運動の日」に、猿沢小学校へ行きました。

登校して来る児童の皆さんと、元気に「おはようございます」のあいさつをしながらハイタッチ。猿沢地域の子供達も、どこで会ってもとても気持ちのいいあいさつをしてくれて、こちらも嬉しくなります。

子どもだけでなく大人もあいさつをかわす猿沢地域。これからも続けていきたいですね。(高橋 みゆき 猿沢)

